

期 間 入 札 の 公 告

令和 7 年 12 月 17 日

前橋地方裁判所民事部執行係

裁判所書記官 荻 野 和 泉

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8 年 1 月 13 日から 令和 8 年 1 月 20 日 午後 5 時 00 分まで
開札期日	日 時 場 所 令和 8 年 1 月 27 日 午前 9 時 00 分 前橋地方裁判所売却場
売却決定 期日	日 時 場 所 令和 8 年 2 月 17 日 午後 1 時 00 分 前橋地方裁判所民事部執行係
特別売却 実施期間	令和 8 年 1 月 30 日 午前 10 時 00 分から 令和 8 年 1 月 30 日 午後 5 時 00 分まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、株式会社商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限（民事執行規則 33 条）	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 7 年 12 月 17 日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和 6 年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
17, 18, 20	1,290,000 1,032,000	一括	258,000	22,152	5,638
17	580,000				
18	700,000				
20	10,000				
			</		

物 件 目 録

17 所 在 渋川市伊香保町伊香保字甲ノ外野 360番地6

家屋 番号 360番6

種 類 居宅

構 造 木造瓦葺平家建

床 面 積 64.24平方メートル

(現況)

構 造 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建

18 所 在 渋川市伊香保町伊香保字甲ノ外野

地 番 360番6

地 目 宅地

地 積 167.63平方メートル

20 所 在 渋川市伊香保町伊香保字甲ノ外野

地 番 359番3

地 目 公衆用道路

地 積 195平方メートル

持分4分の1



物 件 明 細 書

令和 7年10月 2日

前橋地方裁判所民事部執行係

裁判所書記官 荻 野 和 泉

1 不動産の表示

【物件番号17, 18, 20】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号17, 18, 20】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号17】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

【物件番号20】

本件土地は共有持分についての売却であり、買受人は、当該物件を当然に使用収益できるとは限らない。

北側隣地（地番359番1, 359番4, 360番6（物件18の土地）, 360番8）との境界が不明確である。

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調



査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。

- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」を御覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。



物 件 目 録

17 所 在 渋川市伊香保町伊香保字甲ノ外野 360 番地6

家屋 番号 360 番6

種 類 居宅

構 造 木造瓦葺平家建

床 面 積 64.24 平方メートル

(現況)

構 造 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建

所有者 株式会社ホテル勝保

18 所 在 渋川市伊香保町伊香保字甲ノ外野

地 番 360 番6

地 目 宅地

地 積 167.63 平方メートル

所有者 株式会社ホテル勝保

20 所 在 渋川市伊香保町伊香保字甲ノ外野

地 番 359 番3

地 目 公衆用道路

地 積 195 平方メートル

共有者 株式会社ホテル勝保 持分4分の1



令和6年(ケ)第138号
令和7年1月15日受理
令和7年5月1日提出

現況調査報告書

(物件17、18、20)

前橋地方裁判所

執行官 齋藤 公 秀 ㊞

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

17 所 在 波川市伊香保町伊香保字甲ノ外野 360番地6

家屋 番号 360番6

種 類 居宅

構 造 木造瓦葺平家建

床 面 積 64.24平方メートル

所有者 株式会社ホテル勝保

18 所 在 波川市伊香保町伊香保字甲ノ外野

地 番 360番6

地 目 宅地

地 積 167.63平方メートル

所有者 株式会社ホテル勝保

20 所 在 波川市伊香保町伊香保字甲ノ外野

地 番 359番3

地 目 公衆用道路

地 積 195平方メートル

共有者 株式会社ホテル勝保 持分4分の1

不動産の表示	「物件目録」のとおり	
住居表示	群馬県渋川市伊香保町伊香保 360番地6 (住居表示未実施)	
土地	物件18	
現況地目	☒ 宅地 (物件18) ☐ 公衆用道路 () ☐ 宅地 (物件)	
形状	☒ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面 (各階平面図) のとおり ☐ 土地建物位置関係図のとおり ☐	
占有者及び占有状況	☒ 土地所有者 ☐ その他の者 上記の者が土地に下記建物を所有し、占有している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり	
下記以外の建物 (目的外建物)	☒ ない ☐ ある (詳細は「目的外建物の概況」のとおり)	
その他の事項		
建物	物件17	
種類、構造及び床面積の概略	☐ 公簿上の記載とほぼ同一である ☒ 公簿上の記載と次の点異なる (☒ 主たる建物 ☐ 附属建物) ☐ 種類: ☒ 構造: 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建 ☐ 床面積:	
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある 種類: 構造: 床面積:	
占有者及び占有状況	☒ 建物所有者 ☐ その他の者 上記の者が本建物を 住居 (従業員社宅) として使用している。 ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり	
上記以外の敷地 (目的外土地)	☒ ない ☐ ある (詳細は「目的外土地の概況」のとおり)	
その他の事項		
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ ある 地方裁判所 支部 令和 年 () 第 号 保管開始日 令和 年 月 日	
土地建物の位置関係	☐ 建物図面 (各階平面図) のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり	

(注) チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり

(2枚目)

不動産の表示	「物件目録」のとおり	
住居表示	群馬県渋川市伊香保町伊香保 360番地6 付近	
土地	物件20	
現況地目	☐ 宅地 () ☒ 公衆用道路 (物件20) ☐ ()	
形状	☒ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面 (各階平面図) のとおり ☐ 土地建物位置関係図のとおり	
占有者及び占有状況	☒ 土地共有者ら (本件共有持分権者及び売却対象外共有持分権者ら) ☒ 上記の者らが、未舗装の道路として利用している。 ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり	
下記以外の建物 (目的外建物)	☒ ない ☐ ある (詳細は「目的外建物の概況」のとおり)	
その他の事項	☒ 物件20の土地は共有持分の売却である。	
建物	物件	
種類、構造及び床面積の概略	☐ 公簿上の記載とほぼ同一である ☐ 公簿上の記載と次の点が異なる (☐ 主たる建物 ☐ 附属建物)	
物件目録にない附属建物	☐ ない ☐ ある 種類: 構造: 床面積:	
占有者及び占有状況	☐ 建物所有者 ☐ その他の者 上記の者が本建物を として使用している。 ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり	
上記以外の敷地 (目的外土地)	☐ ない ☐ ある (詳細は「目的外土地の概況」のとおり)	
その他の事項		
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ ある { 地方裁判所 支部 令和 年 () 第 号 保管開始日 令和 年 月 日	
土地建物の位置関係	☐ 建物図面 (各階平面図) のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり	

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(3 枚目)

(関係人の陳述等用)

関係人の陳述等	
陳 述 者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■ A (所有者代表者)	1 私は本土地・建物を所有する会社の代表者です。本建物は当社の従業員1名が住居として使用しています。 2 物件20の土地は近隣者との共有になっています。未舗装ですが、車も通行する道路として使用されています。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(4 枚目)

執行官の意見

■以下のとおり

- 1 本件各物件の状況は、土地建物位置関係図、建物間取図及び添付した写真のとおりである。
- 2 本建物には浴室が備えられていない。また、経年による老朽化が顕著である。
- 3 物件20の土地は近隣者が共同で利用する未舗装の道路で、共有持分の売却となる。
- 4 物件20の土地と北側の隣接地（359番1、359番4、360番6、360番8の各土地）との境界は不明確な状態である。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(5 枚目)

(調査経過用)

調査の経過

調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
令和7年1月21日 9:00-9:10	前橋地方法務局 本局	■本件土地上の登記建物（本件建物以外）不存在確認
令和7年1月22日 10:50-11:00	前橋地方法務局 渋川出張所	■隣地登記事項要約書交付申請
令和7年1月29日 13:00-13:30	渋川市役所	■家屋平面図交付申請 ■土地家屋現況図交付申請
令和7年1月29日 15:15-15:25	物件所在地	■物件調査 ■Aから聴取 ■占有調査 ■写真撮影
令和7年2月25日 11:40-11:55	物件所在地	■物件調査 ■立入調査 ■境界確認 ■Aから聴取 ■写真撮影

(特記事項)

□ 令和 年 月 日

目的物件は不在で施錠されていることも予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。

□ 令和 年 月 日

目的物件は不在で施錠されていたので、立会人を立ち合わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。

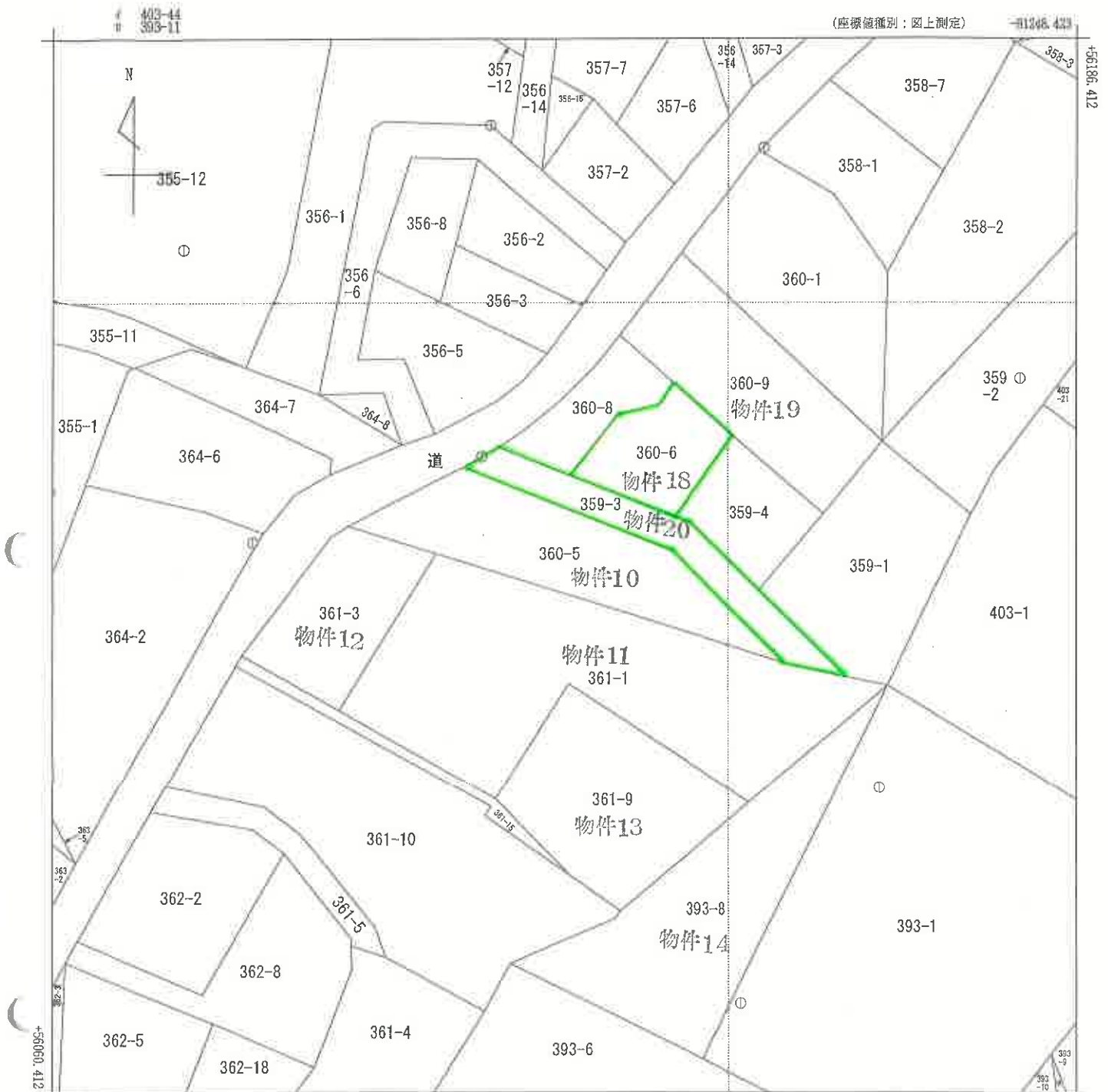
□ 令和 年 月 日

休日・夜間執行許可の提示をした。

令和7年2月25日 評価人同行

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(6 枚目)



(注) 国土交通省国土地理院が公表した座標補正パラメータ(touhokutaibeiyouki2011.par)による修正がされています。

地番区域見出
伊香保町伊香保

請求部	求分	所 在				渋川市伊香保町伊香保字甲ノ外野				地 番		360番5							
出力縮	力尺	1/500		精 度 分 区		甲 三		座標系 番号又は 記号		IX		分類		地図(法第14条第1項)		種類		地籍図	
作成年月日		平成4年2月						備付年月日 (原図)		平成5年3月5日						補記事項			

これは地図に記録されている内容を証明した書面である。

(前橋地方務局渋川出張所管轄)
令和6年10月30日
東京法務局

A3をA4に縮小

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。

(前橋地方法務局 河川出張所管轄)

令和6年10月30日

東京法務局

登記証

(8 枚目)

A3をA4に縮小

地図整理番号：M79974

(日 割 連 15)

縮	尺	1/500	1/200
---	---	-------	-------

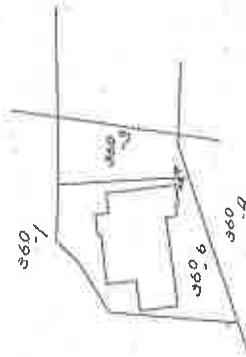
(日本土地家屋調査士会連合会用紙)

建 物 階 面 図

360 号 6

家屋番号
建物の所在
北群馬郡伊香保町大字伊香保字甲、小部
360番地6

4006216 渋川市伊香保町



床 面 積

1.02	x	0.36	=	0.3672
6.47	x	0.91	=	5.8867
0.19	x	1.02	=	0.1938
10.92	x	0.68	=	7.4256
2.73	x	0.91	=	2.4843
1.02	x	0.36	=	0.3672
合				69.2460

昭和 47 年 11 月 21 日
作 製 年 月 日

作 製 者
土地家屋調査士

申 請 人

土地建物位置関係図



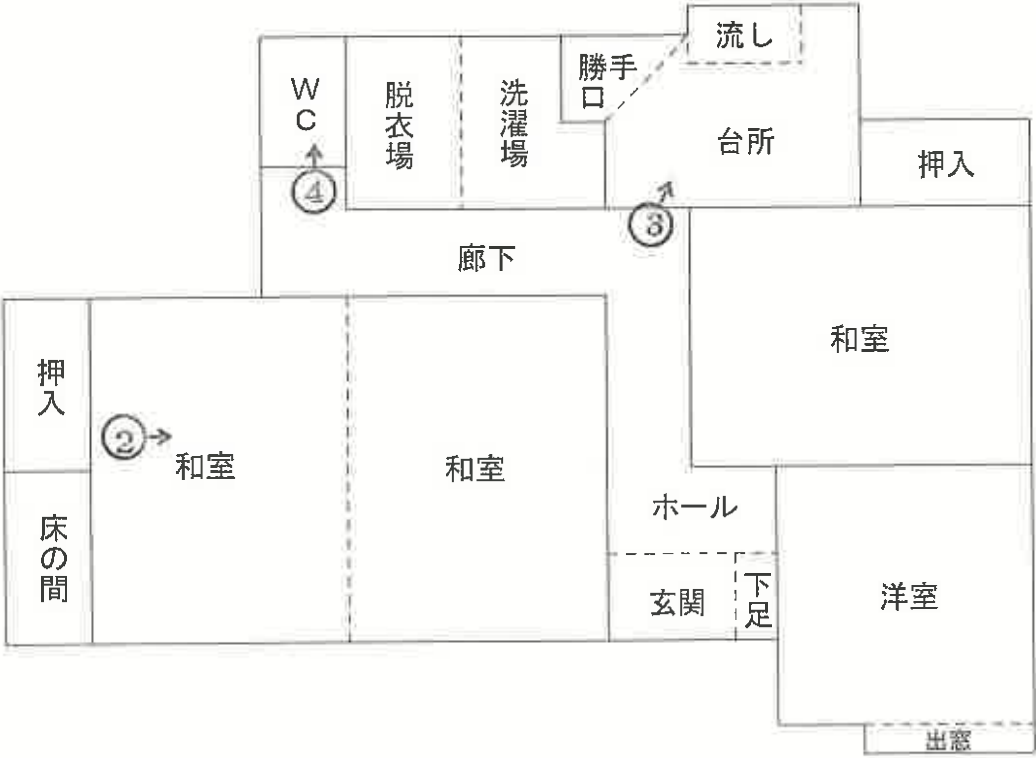
1/500



←○ 写真撮影位置・方向

建物間取図

物件17



←○ 写真撮影位置・方向



①



②



③



④



⑤

令和6年(ケ)第138号
令和7年2月25日 現地調査
令和7年5月7日 評価

前橋地方裁判所 民事部 御中

評 価 書
(物件17、18、20)

評価人 不動産鑑定士

海老沼 宏次

第1 評価額

一 括 価 格	
金1,290,000円	
内 訳 価 格	
物件17（建物）	金580,000円
物件18（土地）	金700,000円
物件20（土地）	金10,000円

- ① 一括価格は、物件17、18、20の各不動産について、一括売却（民事執行法61条本文）を行うことを前提とした場合の価格である。
- ② 内訳価格は、配当の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- ③ 物件18の土地の内訳価格は物件17の建物のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件17の価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。従って、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較して競売不動産特有の各種制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は、内覧制度によるほか物件の内部の確認が直接出来ないこと、引渡を受けるために法的手続きをとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて評価するものであり、調査以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は目視可能な部分に限定され、物件に関する情報提供の内容も、民事執行法58条4項に定める場合を除いて公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件の表示

番号	所在等	登記	現況
17	所在 家屋番号 種類 構造 床面積	渋川市伊香保町伊香保字甲ノ外野360番地6 360番6 居宅 木造瓦葺平家建 64.24 平方メートル	木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
18	所在 地番 地目 地積	渋川市伊香保町伊香保字甲ノ外野 360番6 宅地 167.63 平方メートル	同左
20	所在 地番 地目 地積 共有持分	渋川市伊香保町伊香保字甲ノ外野 359番3 公衆用道路 195 平方メートル 4分の1	同左
特記事項			

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等（物件18）

位置・交通	J R上越線「渋川」駅 西方 約9,000m（道路距離）	
付近の状況	伊香保温泉石段街入口の北東方約850m付近（直線距離）に位置し、既存の戸建住宅を中心に、雑種地や店舗等が一部見られる北方へ下り傾斜地勢にある住宅地域である。温泉街からやや離れているため、温泉街の風情は感じられない。街区はやや雑然とし新築住宅も見受けられないことから、旧態依然の街並みとなっている。	
主な公法上の規制等 （道路幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制）	都市計画区分 用途地域 建ぺい率 容積率 防火規制 その他の規制	非線引都市計画区域 第一種住居地域 60% 200% なし 立地適正化計画区域外
画地条件 （規模、形状等）	地積 間口・奥行 形状 接道状況 その他	167.63㎡ 間口 約14m 奥行 約13m やや不整形 中間画地 地勢は概ね平坦
接面道路	南西側で幅員3.5m程度の未舗装市道（物件20の公衆用道路；建築基準法の道路については特記事項参照）に等高乃至やや低く接面している。	
土地の利用状況 及び隣地の状況等	物件18は物件17の建物敷地として利用されている。建物の配置は附属資料土地建物位置関係図のとおり。隣接地は住宅地や雑種地となっている。	
供給処理施設	水道 あり※特記事項参照 ガス配管 あり※特記事項参照 下水道 あり※特記事項参照 （注）供給処理施設における「あり」とは、対象物件の前面道路に当該施設の本管（以下、施設管という）が通っており、通常の費用で敷地内への引き込みができる状態にあることをいう。「なし」とは、対象物件を含めた周辺に施設管が配置されておらず、敷地内に引き込むことが不可能な場合をいう。「不明」とは、前面道路に施設管は敷設されていないにもかかわらず供給処理施設を利用している場合や、役場での確認事項に疑義がある場合等で、将来的に当該施設が利用できるかどうか不明な場合をいう。	

特記事項	本件土地が接面する市道（物件２０の土地）は建築基準法上の道路であるが、渋川市役所建築住宅課での調査によれば、当該道路は公図上及び現況において４ｍ以上の幅員があれば建築基準法４２条１項１号道路として扱うが、前記条件を満たさない場合は建築基準法４２条２項道路として扱うとしている。現地においては北側の宅地（３５９-１、３５９-４、３６０-６（物件１８の土地）、３６０-８）との境界があいまいであり、有効幅員は３.５ｍ程度と見られる。 上水道は周辺宅地と一緒に連合管で引き込み、利用している。 ガスは伊香保ガス株式会社による導管による供給であり、ガスの種類は都市ガスでなくＬＰガスである。 下水道は本件土地内にマスが見られず、周辺宅地と一体的に使用している可能性がある。 現地調査における目視においては直ちに土壌汚染や地下埋設物を疑わせるような端緒は特に見当たらない。なお、昭和５０年頃の国土地理院の空中写真を参考にすると、本件土地には既に本件建物が建っていたと見られるほか、周辺地域は戸建住宅を中心とした町であった模様であり、工場等の存在は特に認められない。 マッピングぐんまによれば、本件土地は周知の埋蔵文化財包蔵地に含まれない。
------	--

物件２０（公衆用道路）

画地条件 （規模、形状等）	地 積 195㎡ 間 口 ・ 奥 行 幅員 約3.5m 延長 約49m そ の 他 地勢はほぼ平坦
接面道路	西側で幅員５～６ｍ程度の舗装市道（建築基準法４２条１項１号道路）に接続している。
土地の利用状況 及び隣地の状況等	物件２０の土地は３者による共有の未舗装公衆用道路であるが、現在は渋川市道の認定を受けている。
特記事項	上記物件１８の土地の特記事項記載の通り、本件土地は建築基準法上の道路である。その他詳細は上記特記事項を参照されたい。

2 建物の概況及び利用状況等（物件17）

区 分	主である建物		
建築時期及び 残存耐用年数	建 築 年 月 日	昭和47年11月15日新築（登記記載）	
	経 過 年 数	約53年	
	経 済 的 耐 用 年 数	約25年	
	経 済 的 残 存 耐 用 年 数	残価程度	
仕 様	構 造	木造	
	屋 根	カラー鉄板	
	外 壁	サイディング、吹付タイル等	
	内 壁	漆喰、繊維壁等	
	天 井	ビニールクロス貼り、化粧合板等	
	床	畳、寄木フローリング等	
	設 備 そ の 他	台所、トイレ 風呂なし	
床面積（現況）	1 階		
	64.24 m ²		
現況用途等	現 況 用 途	居宅	
	間 取 り	附属資料建物間取図のとおり	
品 等	中品等下位		
保守管理の状態	経年相当である。		
建物の利用状況等	建物所有者が本建物を住居（従業員社宅）として使用している。		
特記事項	建築確認 第270号 S47.7.26 完了検査 なし		
	大きな破損、損壊は認められないが、建物全体として老朽化が進行している。また風呂がない居宅であり、新築時から50年以上が経過していることも考慮すると、経済的価値は僅少と判断する。		

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

(1) 建付地価格（物件18及び20）

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

物件番号	標準価格 (円/㎡) ア	個別格差 イ	地積 (㎡) ウ	建付減価 補正率 エ	持分 割合 オ	建付地価格 (円) ア×イ×ウ×エ×オ
18	23,700	0.95	167.63	0.70	1 / 1	≒ 2,640,000
20	—	—	195	—	1 / 4	10,000

※物件20の土地は市道認定を受けた公衆用道路のため、上記のとおり査定した。

ア 標準価格（公示価格等からの規準）

基準地	渋川（県）－11
-----	----------

$$\begin{array}{ccccccc} \text{基準地価格} & & \text{時点修正} & & \text{標準化補正} & & \text{地域格差} & & \text{標準価格} \\ 25,900 \text{ 円/㎡} & \times & 99.0/100 & \times & 100/103 & \times & 100/105 & \div & 23,700 \text{ 円/㎡} \end{array}$$

- ◇ 時 点 修 正 : 公示地等の価格時点から評価日までの推定変動率である。
- ◇ 標 準 化 補 正 : 方位
- ◇ 地 域 格 差 : 公示地等は対象地域より環境条件等が+5%優ると判断した。

イ 個 別 格 差 : ▲ 5% 方位、形状、セットバックの可能性等
 ウ 地 積 : 登記数量を採用
 エ 建 付 減 価 補 正 : 物件18につき、建付減価率を-30%と判定した。

(2) 建物価格（物件17）

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法並びに観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物価格を求めた。

番号	符号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延床面積 (㎡) イ	現価率 ウ	建物価格 (円) ア×イ×ウ
17	主	—	64.24 ㎡	—	10,000

※建物の価格については、専ら観察減価を考慮し、上記のとおり査定した。

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物についてはその土地利用権等価格を加算し、競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

① 土地利用権価格

番号	建付地価格(円) ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格(円) ア×イ
18	2,640,000	0.45	法定地上権	≒ 1,190,000
20	10,000	0.00	—	= 0

イ 土地利用権等割合 : 物件18について土地利用権等を法定地上権と判定し、その割合を45%と査定した。物件20については土地利用権等はなしと判断した。

② 内訳価格及び一括価格

番号	基礎となる 価格(円) ア	土地利用権等 価格の控除及 び加算(円) イ	占有 減価 ウ	市場性 修正率 エ	競売 市場 修正率 オ	その他 の控除 減価率 カ	評価額(円) (ア+イ)×ウ ×エ×オ×カ
17	10,000	+1,190,000	1.0	0.8	0.6	1.0	≒ 580,000
18	2,640,000	-1,190,000	—	0.8	0.6	—	≒ 700,000
20	10,000	±0	—	1.0	0.6	—	≒ 10,000
一括価格(合計)							1,290,000

ウ 占有減価 : 必要なし

エ 市場性修正率 : 近年の伊香保町地域の住宅等の不動産取引動向を考慮し、物件17及び18につき、上記のとおり査定した。

オ 競売市場修正率 : 第2評価の条件欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した。

カ その他の控除減価率 : 必要なし

第6 参考価格資料

基準地価格 【 渋川（県）－ 1 1 】

所 在 : 渋川市伊香保町伊香保字甲ノ外野 3 5 3 番 1 3 外
価 格 : 25,900 円/㎡
位 置 : J R 両毛線「渋川」駅の西方約8,600m
価 格 時 点 : 令和6年7月1日
地 積 : 266 ㎡
供給処理施設 : 水道、ガス、下水
接 面 街 路 : 南東5.5m市道
用 途 指 定 等 : 非線引都市計画区域・ 1 中専（建ぺい率60%、容積率200%）
地 域 の 概 要 : 中規模一般住宅の見られる小学校近接の住宅地域

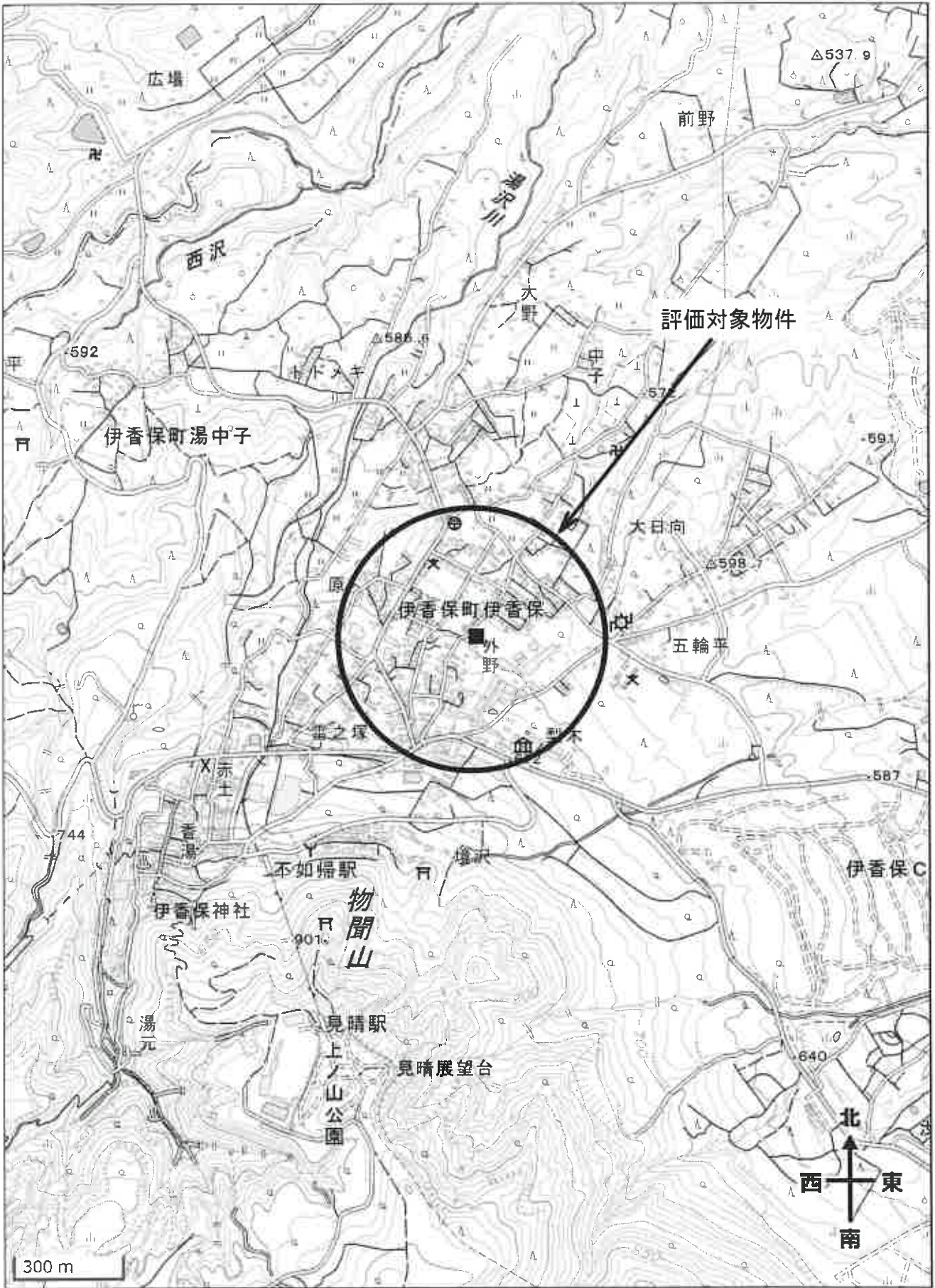
第7 附属資料の表示

位置図

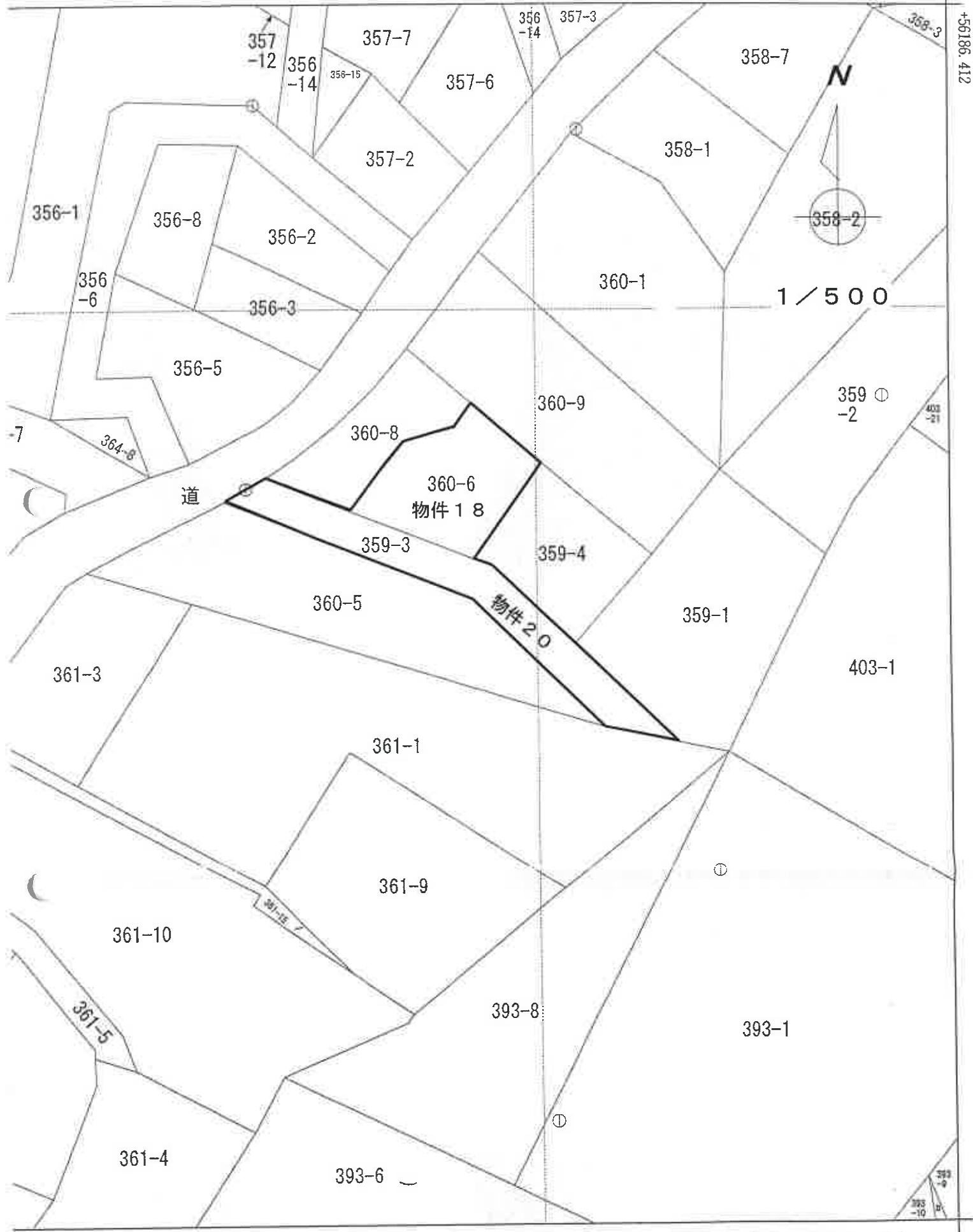
公図写

土地建物位置関係図

建物間取図



出典：「地理院地図（電子国土基本図）」（国土地理院）



(決定)
補正パラメータ(touhokutaiheiyouuki2011.par)による修正がされています。

地番 区域 見出	伊香保町伊香保
----------------	---------

土地建物位置関係図



1/500



建物間取図

物件17

